



第56回ベルリン国際映画祭パノラマ部門観客賞受賞  
 同エキキュメニク審査員賞・ヨーロッパシネマレーベル賞受賞  
 第31回セザール賞最優秀オリジナル脚本賞受賞  
 同最優秀作品賞・最優秀監督賞・最優秀音楽賞ノミネート

行け、生きろ、生まれ変われ

# 約束の旅路

Va, vis et deviens

ラデュ・ミヘイレアニュ監督作品

監督ラデュ・ミヘイレアニュ 製作ドニ・キヤロ、マリール・マモンテイ、ラデュ・ミヘイレアニュ 脚本アラン・ミシェル・ブラン、ラデュ・ミヘイレアニュ 撮影レミー・シュヴラン 音楽アルマンド・アマール  
 出演ヤエル・アベカシス、ロシュダイ・ゼム(第59回カンヌ国際映画祭男優賞「Indigènes」)、シラク・M・サバハ  
 2005年/フランス映画/140分/シネマスコープ/カラー 原題:Va, vis et deviens 字幕:松岡葉子 字幕監修:白井陽 配給:カフェ・グループ、ムヴィオラ

yakusoku.cinemacafe.net



少年は生きろ。  
 故郷から遠く離れ  
 真実の名前をかくして――。  
 エチオピア、イスラエル、フランス  
 混迷し対立する世界を舞台に  
 人間愛が映し出す感動の叙事詩。

Elzévir Films et OI OI Productions présentent Va, vis et deviens. Un film de Radu Mihailescu Avec Yael Abecassis - Roschdy Zem - Moshe Azouai - Moshe Abebe - Sirak M. Sabahat - Yuhak Edgar - Romi Hadar - Rami Dano. Un scénario de Radu Mihailescu avec la collaboration de Alain-Michel Blanc. Musique originale Armand Amar Image Rémy Chevini A.F.C. Montage Ludovic Truch. Son Henri Morelle - Eric De Vos Mixage Bruno Tarrère Décors Eytan Levy Costumes Bona Doron 1er assistant réalisateur Olivier Jacques Directeur de production Yorick Kalbaché Produité par Denis Caron - Marie Masmontell - Radu Mihailescu Une coproduction Elzévir Films - OI OI Productions - Cattleys - K2 - Transfax - France 3 Cinéma - RTL-TV1 - SCOPE Invest Avec le soutien de Eurimages et du CNC Avec la participation de Canal+ - Cinécinéma - Risque Produité avec l'aide du Centre du Cinéma et de l'Audiovisuel de la Communauté française de Belgique, et des télédiffuseurs wallons Développé avec le soutien du programme MEDIA de la communauté européenne Ventes Internationales Films Distribution

Yakusoku Cinema Cafe Films



## ママ、僕はいったい、何になればいいの？

家族を失い、母と2人、歩いてスーダンの難民キャンプにたどりついた9歳のエチオピア人少年。母は少年に命じた。生きのびるために、ユダヤ人と偽って、ひとりイスラエルへ脱出するように。母と別れ、故郷から遠く離れて、真実の名前を隠して生きる新しい地。そこで少年は愛情ゆたかな養父母に出会うが、別れた母とアフリカの大地への思いはおさえがたく、肌の色や宗教による壁、そしてユダヤ人だと偽りつづけることに激しく葛藤する。やがて彼は成長し恋も知るが、故郷アフリカの窮状を知り、医師を志してパリへ向かう……。

本作は、エチオピアのユダヤ人をイスラエルに移送するという「モーセ作戦」の知られざる史実から生まれた感動の物語。小さなアフリカの少年の旅が、まだ世界には愛と希望が存在していることを教えてくれる。



## 「もっとも感動した映画」、世界をめぐる観客たちの熱い声。

本作はベルリン映画祭を皮切りに、世界各国の映画祭で大反響を呼び、観客賞や人気作品賞を受賞。日本でもフランス映画祭横浜での上映で、観客から「今年のベストワン!」と絶賛され、ネット上で「1日も早い公開を望む!」と熱い支持が高まった作品である。主人公の少年の青年時代を演じたシラク・M・サバハは役柄と同様、エチオピアからイスラエルへ移住した体験の持ち主。養父母に扮するのは、アモス・ギタイ監督の『カドゥッシュ』などで知られる大女優ヤエル・アベカシスと『Indigènes』で2006年カンヌ映画祭最優秀男優賞を受賞したロシュディ・ゼム。監督のラデュ・ミヘイレアニュは、前作でサンダンス映画祭観客賞、ヴェネチア映画祭国際批評家連盟賞などを受賞したフランス映画界の気鋭。本作で、まさに入魂といえる作品を完成させた。



“あなた方を 鷲の翼にのせて”～「出エジプト記」より

エチオピア北部ゴンダールの山中に、ソロモン王とシバの女王の末裔として、ユダヤの民が古代より暮っていた。彼らは太古の昔から、出エジプト記に記された聖地エルサレムへの帰還を夢んでいた。アフリカが干ばつに襲われた1984年。彼らは、混乱したエチオピアを密かに離れ、スーダンまでひたすら歩き続けた。そしてそこから“約束の地”へ彼らは旅立ったのだが……。

CinemaCafe films  
yakusoku.cinemacafe.net

# 約束の旅路

文部科学省特別選定 [青年向き、成人向き、家庭向き]

監督ラデュ・ミヘイレアニュ 出演ヤエル・アベカシス、ロシュディ・ゼム、シラク・M・サバハ

原題Va, vis et deviens / フランス語・ヘブライ語・アムハラ語 2005年 フランス映画 149分 シネマスコープ カラー ドルビーデジタル

字幕松岡美子 字幕監修白井岡 配給カフェ・ムーヴ、ムヴイテラ

協賛日本リカー 協賛 協力国連難民高等弁務官 (UNHCR) 駐日事務所